

一般社団法人 日本創造経営協会  
第45回 創造経営研究大会

主催：一般社団法人日本創造経営協会 後援：公益社団法人全日本能率連盟  
株式会社創造経営センター  
監査法人薄衣佐吉事務所  
税理士法人大和  
株式会社ソウケイ・ハイネット

本年、日本創造経営グループは、創立70周年を、当協会は、創立55周年を迎え、その歴史は人づくりの歴史であり、創造経営教育システムにより、多くの産業人を育成・輩出してまいりました。

日本創造経営協会の家庭・生命に根ざした人材育成活動は、核家族から単身家族の増加が進み、家族関係、そして地域社会における人間関係が希薄になっていく社会構造上の危機に対し、今こそ必要とされる人づくりの活動です。

この機を見据え、また、新たな時代の要請に応える産業人教育を今後も目指してまいります。

そして現在（及び今後）の大きな環境変化の中で、地域に根ざした中核企業の育成を通じた企業群展開に向けて革新を図ってまいります。

平成30年は、第45回を迎えた「創造経営研究大会」として『地域開発を担う創造企業群の展開～困っている問題の解決を通じて～』の活動に取り組みます。

ご多用とは存じますが、ご夫妻で、また、お知り合いをお誘い頂き、ご来場下さいますようお願いいたします。

一般社団法人日本創造経営協会 理事長 山口 脩

「地域開発を担う創造企業群の展開」

～困っている問題の解決を通じて～

期 日：平成30年（2018年）9月21日（金）12:00 開場

会 場：経団連会館 2階 国際会議場

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2

TEL：(03) 6741-0222

FAX：(03) 6741-0233

参加費：●無 料（パーティーのみ9,000円/1名）

※懇親会費につきましては、当日お支払いいただきますので、  
お手数ですがご用意ください。

※「参加券」につきましては、同封の「参加券」にご記入してご来場ください。  
なお、当日、会場でも配布させていただいております。


## □事例研究発表「地域開発を担う創造企業群の展開」

～困っている問題の解決を通じて～

株式会社丸和運輸機関

代表取締役

和佐見 勝



株式会社丸和運輸機関

代表取締役社長 和佐見 勝

「桃太郎便」で親しまれ、日本の物流を牽引する総合物流企業—株式会社丸和運輸機関は、昭和45年に和佐見勝氏がトラック1台で創業した。3PL（サードパーティロジスティクス）など常に先進的な物流システムを開発・展開し、平成26年東証第二部上場を果たし、翌年には市場第一部指定銘柄となった。

しかし、その歩みは決して平坦なものではなく、失敗とその克服の連続であった。そのような中で創造経営と出会い礪部巖を師と仰ぎ、経営の基本を学んでいく。そして、成長の鍵は「相手の困っている問題を解決し、相手を助けることこそ、唯一自分を成長させることができる」という和佐見社長の揺るぎない精神であった。その精神が「桃太郎文化」として昇華され、企業文化として貫かれている。その精神を物流事業として具現化し、お客様の価値創造を実現していくために「ロジスティクス大学」を中心とした教育システムを構築し、人づくりを組織的に展開している。

現在、物流業界はネットビジネス等による物量の増加と働き手の不足により、崩壊前夜を迎えている。そのような危機的状況の中、桃太郎精神に貫かれた、物流企業群A Z—COM丸和・支援ネットワークを組織化した。困難な社会的課題の解決に挑戦し続ける丸和運輸機関、その「志」の高さと先見性、そして卓越した行動力の源泉は、和佐見社長のご両親への純粋な愛と感謝、そして、根源的生命から導かれる使命感であった。

今回、その使命感に基づく熱い思いをご発表いただきます。

### ■発表企業概要

株式会社丸和運輸機関

〒342-0008 埼玉県吉川市旭7番地1（東埼玉テクノポリス）

代表取締役社長 和佐見 勝

創業年月 1970年1月

設立年月 1973年8月

資本金 26億5,000万円

従業員数 約10,000名（グループ合計パート含む）

事業内容 ■サードパーティ・ロジスティクス（3PL）事業

・低温食品物流（ネットスーパー）・医薬／医療物流・常温物流

■ロジスティクスコンサルティング事業

■運輸事業

■オンデマンド、文書保管事業

支店・営業所 全国102ヶ所（グループ合計）

埼玉、東京、神奈川、千葉、茨城、群馬、栃木、北海道、岩手、宮城、愛知、大阪、京都、福井、兵庫、滋賀、岡山、広島、高知、福岡 他

## □発表「母と向き合い、周囲と向き合える心を育む」

株式会社ラブ・ラボ

人事総務部 チームリーダー

山下 砂奈

山下さんは、香川県高松市にあるオリジナルTシャツを制作する㈱ラブ・ラボにおいて人事総務のチームリーダーとして、採用や社員教育と共に、健康経営への取り組みなど女性ならではのきめ細かな仕事を託されている。

山下さんは、社員教育の一環として創造経営教室の基礎・中級コースを受講し、様々な気づきを深めた。特に中級コースは大きな分岐点となった。山下さんは、祖母から母は亡くなったと聞かされていたが、18歳の時に母は生きてると伝えられた。中級コースでは、生んでいただいた母を捜して会いに行こうと決めた。しかし、その実践には様々な困難があり、それを乗り越える中での気づきが人間的な成長を促していった。

その人間的な成長が、営業職のリーダーを超え、会社全体のスタッフが成長していく土壌をつくる中核人材へと進化させていったのである。その成果の一つが健康経営への取り組みである。

今回は、山下さんの祖母や母への思いや実践を通しての人間性と職務能力の向上と共に、これまで支えてくれた社長の願いや当社の人材育成の仕組みなどを発表していただきます。



株式会社ラブ・ラボ  
人事総務部 チームリーダー  
山下 砂奈

## □研究発表「創造する管理者を育成する～管理者育成システム～」

株式会社創造経営センター

エグゼクティブマネージャー

中村 行男

技術革新を社会経済の発展につなげていかなければならない。企業もその変化に適応して業務システムやビジネスモデルを変革していくことが求められている。管理者もまた仕事の内容（職務）を見直し、マネジメントの仕組みも変えていかなければならない。

管理者の能力開発のスタートは、日々の基準創造行動の実践を通じた職場のメンバーとの相互信頼と意思疎通から始まる。この信頼に根差したコミュニケーションが土台となり、メンバーの課題を自分の課題と統合して他のために尽くそうとする心意、行動がうまれるとき、組織の成長と自らの成長を果たしていく創造的な管理者が育まれていく。

このような管理者を育成していくには、次の5つがポイントとなる。

- ①経営者が管理者の職務充実（及び職務開発）にむけた願いを明らかにする
- ②職務分析・マネジメント分析を通して課題に管理者自ら向き合っていく
- ③創造経営教室で設定する「誓いの実践」を経営者が支援する（経営者の職務）
- ④管理者層が相互に職務充実と「誓いの実践」を推進していく場をつくる（共育の場で、管理者層を育てる）
- ⑤リーダー（補完者）への職務委譲計画を作成し、一体になって取り組む

以上のように、職務充実（及び職務開発）と人間性開発の両輪がまわることにより、管理者としての成長が促進される。

今回は「創造する管理者」の育成について、具体的事例を交えながら発表します。



株式会社創造経営センター  
エグゼクティブマネージャー  
中村 行男

# 一般社団法人日本創造経営協会 第45回創造経営研究大会

<スケジュール>

■講演の部

2階 国際会議場 (12:45~17:00)

創造者表彰

事例研究発表「地域開発を担う創造企業群の展開」

~困っている問題の解決を通じて~

株式会社丸和運輸機関 代表取締役社長 和佐見 勝

発表

「母と向き合い、周囲と向き合える心を育む」

株式会社ラブ・ラボ

人事総務部 チームリーダー 山下 砂奈

研究発表

「創造する管理者を育成する ~管理者育成システム~」

株式会社創造経営センター

エグゼクティブマネージャー 中村 行男

創造経営研究大会 総括

株式会社創造経営センター

代表取締役社長

一般社団法人日本創造経営協会

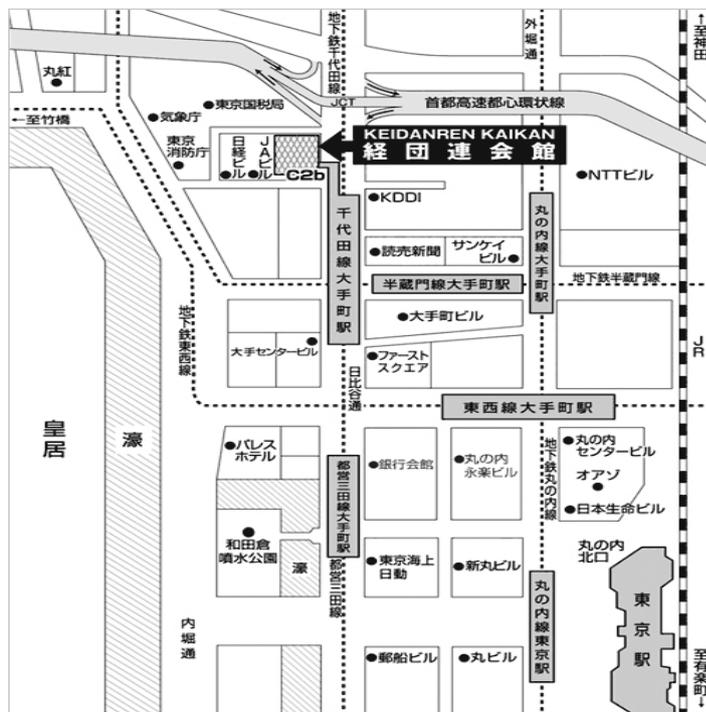
理事

森田 雅美

■懇親パーティー

2階 経団連ホール (17:10~18:30)

会場案内 (経団連会館)



東京メトロ「大手町」駅下車 C2b出口直結

■お問い合わせ先：一般社団法人日本創造経営協会

創造経営研究大会 事務局 (担当：押田・伊藤)

〒113-0033 東京都文京区本郷2-10-9 富士ビル

電話 03-3816-1451 Fax03-3814-1933